

## 新型コロナウイルス感染症対策における今後の取組について

各市町村から事前に御提出いただいた意見交換項目については、以下のとおりとなります。

No.	意見交換項目	提案市町村
1	<p>【項目名】</p> <p>学校が臨時休業となった場合の I C T の活用による学びの保証について</p> <p>【現状・課題】</p> <p>全国的に見ると、県教育委員会が授業動画の配信や、授業動画を配信するための手法や共同で利用できるサイトを準備するなどの活動が見られる。</p> <p>通常の授業を行いながら、授業動画配信の準備を行うことは教員の負担が大きく、また、臨時休業期間が長期にわたる場合は、マンパワーが不足し対応が困難になることが予想される。</p> <p>【論点】</p> <p>家庭において活用する動画の企画から配信まで、県教育委員会や県立総合教育センター等で取り組む考えはないか。</p>	花巻市
2	<p>【項目名】</p> <p>肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の生産者負担金の引き上げの猶予について</p> <p>【現状・課題】</p> <p>肉牛の需要が大きく減少し、肉用牛肥育農家の経営が大きな打撃を受けている。そのような状況の中、生産者負担金が令和 2 年 10 月請求分より 6,000 円から 64,000 円に引き上げる旨の通知があった。</p> <p>国や地方公共団体が畜産農家に対し経営支援を行っている状況下であり、畜産農家の経営をさらに圧迫することとなる。</p> <p>【論点】</p> <p>生産者負担金の引き上げを当面見送る、または納付猶予期間を延長するなど、農家負担の軽減を図ること。</p>	花巻市 北上市
3	<p>【項目名】</p> <p>家賃支援の対象にならない事業者の支援について</p> <p>【現状・課題】</p> <p>東日本大震災等により壊滅的な被害を受けた市町村において、既に多くの借入れを行っている事業者が、新たな借入れをする余裕がない。かつ、既存の借入金の返済負担が重く、倒産の危機に瀕している事業者も少なくない。</p> <p>【論点】</p> <p>二重、三重のローンを抱えざるを得ないにもかかわらず、家賃支援の対象にもならない事業者の支援のあり方について</p>	陸前高田市

No.	意見交換項目	提案市町村
4	<p>【項目名】 経済振興策について</p> <p>【現状・課題】 地域経済を活性化させていくためには、人の交流や購買を促していくことが現実的である。 時々の実情に合った事業者支援策をタイムリーに形成・実施することが大きな課題となっている。</p> <p>【論点】 「新しい生活様式」による市内及び県内（市町村をまたいだ広域）の経済振興策について</p>	陸前高田市
5	<p>【項目名】 新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者のPCR検査について</p> <p>【現状・課題】 災害時の避難所運営における感染予防対策について、保健所の指導により、2週間の経過観察を行っている濃厚接触者への対応が課題。 個人情報などの問題から市町村に情報がないため、一般の避難所で受け入れる可能性があることがリスクとして挙げられる。</p> <p>【論点】 濃厚接触者の災害時の避難のあり方について、該当者に対して事前に個人情報の提供に対する同意を取るなど、保健所が主導し、対応策を示してほしい。</p>	釜石市
6	<p>【項目名】 市町村の裁量で行う支援策への弾力的な支援と事務手続きの簡素化について</p> <p>【現状・課題】 市町村で独自に行っている各種地域経済支援策について、後発の県制度との重複等整合性が取れなくなる場合がある。また、制度の確定まで情報が共有されないために制度運用の準備が遅れ、必要な対応が取れなくなる状況にある。 手続きが煩雑になることが多い共同補助の場合、事業者や市町村に対する負担が大きく、事業者から敬遠されることが多い状況である。</p> <p>【論点】 県との共同補助のほか、市町村の裁量で行う支援策に対して、弾力的な支援を行ってほしい。また、制度創設にあたっては、事務手続きの簡素化、市町村への一元化を検討してほしい。</p>	釜石市

No.	意見交換項目	提案市町村
7	<p>【項目名】</p> <p>小規模町村における医療体制の連携について</p> <p>【現状・課題】</p> <p>医療体制が脆弱なところでは、感染者の発生が即時に医療体制の崩壊に繋がりがねない。</p> <p>今後第2波が起きた場合、住民及び医療現場が混乱なく対処できるか懸念される。</p> <p>【論点】</p> <p>小規模町村では、緊急時において他の医療機関に医療従事者の派遣依頼が可能な体制を構築済みなのか。構築済みであれば、どのような仕組みとなっているか。</p>	岩泉町
8	<p>【項目名】</p> <p>感染予防物品の安定供給体制について</p> <p>【現状・課題】</p> <p>マスク等の感染予防物品の供給について、全国的には改善の兆しは見られるものの、感染症蔓延前の状況にはない。</p> <p>今後第2波が冬季に起きた場合、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症対策で相当数の感染予防物品の需要が想定され、その際、必要量を確保し住民に提供できるかが懸念される。</p> <p>【論点】</p> <p>医療機関等と同様に、一般住民用の感染予防物品を県で一括して購入し、市町村に対して配布（あっせん）する仕組みを構築してほしい。</p> <p>また、市町村では第2波への備えの中で、一般住民用の感染予防物品の確保についてどのような取組を実施、もしくは検討しているのか。</p>	岩泉町